

1. 地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	349,431,752	
	内訳	うち、国費相当額	173,715,876
		うち、地方負担相当額	175,715,876
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	318,162	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	36,329,399	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	313,420,515	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	155,710,258
		うち、地方負担相当額	157,710,258
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高	313,420,515	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)	313,000,000	
⑩	保有割合	1.001	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	環境教育・実践推進事業	17,202,345	33,500	17,168,845	うち318,162円は基金運用益を充当	48%	22,067,000	143,980,000
2	CO2を減らして未来を守る県民運動推進事業	953,000		953,000	事業名変更、統廃合あり (令和4年度以降はゼロカーボン普及傾圧促進事業、水素エネルギー啓発事業)	32%		
3	家庭の省エネ・再エネ快適生活促進事業	3,000,000		3,000,000		16%		
4	地域のエネルギー社会構築支援事業	5,034,190		5,034,190		50%		
5	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト	2,551,341		2,551,341		63%	1,825,000	15,650,000
6	「とっとりブラごみゼロ」チャレンジ事業	6,306,301		6,306,301		54%	6,413,000	34,430,000
7	湖山池・東郷池及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	65,722		65,722		22%	885,000	6,260,000
8	“ラムサール条約湿地”中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	1,250,000		1,250,000		10%	1,250,000	9,390,000
9		0						
10	(以下は令和4年度以降の基金充当事業)	0						
11	ゼロカーボン普及啓発促進事業	0					7,000,000	31,300,000
12	水素エネルギー啓発事業	0					1,000,000	3,130,000
13	もったいない！食べ残しゼロ事業	0					6,381,000	28,170,000
14	生物多様性保全事業	0					3,000,000	12,520,000
15	とっとり健康省エネ普及促進事業	0					6,500,000	28,170,000
合計		36,362,899	33,500	36,329,399			56,321,000	313,000,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

<p>成果指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）登録人数 200人（令和9年度） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数 150人（令和9年度） ○エコ宣言の数 30,000人（令和9年度） ○こどもエコクラブ登録人数 10,000人（令和9年度） ○「とっとり自然環境館」及び「とっとり水素学習館」の合計来場者数 10万人（令和9年度） ○一般廃棄物排出量 193千トン（令和5年度見直し予定） ○「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体数 45団体（令和9年度） ○延べ40拠点での普及啓発を行う（令和9年度）
<p>成果実績</p>	<p>【累計実績（H30～R3）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）登録人数 102人 ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数 12人 ○エコ宣言数 9,259人 ○こどもエコクラブ登録人数 4,923人 <ul style="list-style-type: none"> ・・・48% ○CO2を減らして未来を守る県民運動推進事業に関わった人数 1,510人 <ul style="list-style-type: none"> ・・・32% ○ガイドブックの閲覧数 15,500ページビュー <ul style="list-style-type: none"> ・・・16% ○「とっとり自然環境館」及び「とっとり水素学習館」の合計来場者数 49,646人 <ul style="list-style-type: none"> ・・・50% ○一般廃棄物排出量 16,566トン減 <ul style="list-style-type: none"> ・・・63% ○プラごみ削減取組協力企業の登録件数 46件 <ul style="list-style-type: none"> ・・・54% ○「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体数 10団体 <ul style="list-style-type: none"> ・・・22% ○普及啓発を行った拠点数 4拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・・・10%
<p>目標値</p>	<p>100%</p>
<p>達成度</p>	<p>37%（全事業平均）</p>

令和3年度 事業報告書

事業名	環境教育・実践推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・実践推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 温室効果ガス削減、持続可能な社会の構築を推進するため、県民、団体、事業者、行政等の各主体で一体となった県民エコ運動を展開する中で、環境教育と実践活動との連携や情報発信の強化に重点をおき、県民の環境への関心を高め行動につなげるための環境教育、普及啓発、活動支援等に取り組む。</p> <p>【目標】 ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ） ・98人（平成30年4月）→200人（令和9年度） ※年度更新のため、現登録者の維持及び新規登録者の確保を目標とする。 ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数 ・101人（平成30年4月）→150人（令和9年度） ○エコ宣言の数 ・4,020人（平成30年3月）→30,000人（令和9年度） ○こどもエコクラブ登録人数 ・8,449人（平成30年3月）→10,000人（令和9年度） ※年度更新のため、毎年10,000人の維持を目標とする。</p> <p>【令和3年度実績】 ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）新規登録者数 21名 ○とっとり環境教育・学習アドバイザー新規登録人数 3名 ○エコ宣言の数 492名 ○こどもエコクラブ登録人数 4,923名</p>

2. 概要

<p>家庭、地域、企業、NP0など全ての主体が、連携・協働して県民運動的に環境配慮活動を実践するため、地球温暖化防止活動や環境管理システムの普及啓発、人材育成及び活動支援を行う。また、地域の未来は県民みんなで創り出すものとの認識のもと、環境の様子や変化に気づき、環境問題の解決に向けて自ら考え行動する人を育てるため、幼児から大人まで全ての世代を対象に環境教育・学習を推進する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定） ○地球温暖化対策推進法→鳥取県地球温暖化対策条例 →鳥取県地球温暖化防止活動推進センター指定要綱 →鳥取県地球温暖化防止活動推進員設置要綱 ○とっとり環境教育・学習アドバイザー制度運営要領 ○TEAS取組校へのとっとり環境教育・学習アドバイザー派遣要領 ○自治会等へのとっとり環境教育・学習アドバイザー派遣要領 ○こどもエコクラブ事業実施要領（（公財）日本環境協会（こどもエコクラブ事務局）作成） →鳥取県こどもエコクラブ活動支援補助金交付要綱 ○鳥取県環境保全活動支援補助金交付要綱</p>

令和 3 年度 事業報告書

事業名	環境教育・実践推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・実践推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 9 年度

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 地球温暖化防止活動・環境教育推進事業	<p>鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの運營業務として、地球温暖化防止活動や環境教育との連携を図りながら、官民一体となって推進する業務を民間団体に委託し実施した。</p> <p>○地球温暖化防止活動等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進員養成研修をオンライン開催（11/27～12/31）し、スキルアップ研修（7回）や環境審議会への推進員推薦による市町村との連携等により、地球温暖化防止活動推進員の人材育成・支援を実施した。 ・地球温暖化防止活動・実践方法の情報発信・普及啓発を実施した。 ・とっとり環境教育・学習アドバイザー制度を運用し、アドバイザーの人材発掘（3名）やアドバイザー活動動画の作成・配信等を行った。 <p>※新型コロナウイルス感染症対策として、研修等をオンライン形式で実施。Youtubeの動画作成配信（30本以上）も行った。</p> <p>○環境教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパー「カムカムママ」にゼロカーボン特集記事を掲載して、幼稚園、保育所、認定こども園の未就学児やその保護者を対象とした情報発信を行った。 ・家庭で取り組んでほしいゼロカーボンアクションをまとめたリーフレットを県内小学校の全児童へ配布し、参加率の高い学校を表彰した。また、ゼロカーボンへのアイデアを募集し、表彰した。 <p>参加者数：172名（45校）</p>
(2) 県民総参加による環境実践活動の普及啓発	<p>様々な分野の環境活動が、地域のみみんなで取り組む「一体感のある県民運動」として実感してもらえるよう、月ごとに重点テーマを決めて県民みんなが取り組む共通の環境実践を呼びかけを行った。</p> <p>また、環境実践のきっかけづくりのため、エコ宣言の募集を実施するとともに、メディアを通じた取組事例の紹介などにより県民運動をPRを行った。</p> <p>新聞掲載数：27回（広告掲載15回、連載12回）</p> <p>※インスタグラムを活用した身の回りのエコ活動を投稿する事業を実施した。（投稿数約200件）</p>
(3) エコアイデアコンテスト	<p>県内全小学生を対象に、夏休み期間中に廃物を利用した工作（エコ工作）、エコ活動スクープを募集を行った。</p> <p>応募数：849件</p> <p>※新型コロナ感染症対策として、例年の学校単位での応募に加え、個人応募も可能とした。</p>
(4) 民間団体活動支援事業	<p>○地域や団体の環境実践のきっかけづくりや、他の模範となる環境活動の支援</p> <p>【CO2削減につながる省エネ推進モデル事業補助金】</p> <p>自治体を実施する家庭における省エネ対策を推進する取組を支援（補助率1/2・限度額500千円）</p> <p>交付先：1団体</p> <p>○こどもエコクラブ活動の支援</p> <p>【こどもエコクラブ補助金】</p> <p>メンバー、サポーター1人当たり700円を乗じた額を上限として、市町村が登録団体に補助する額の1/2を補助（間接補助）</p> <p>交付先：5市町（こどもエコクラブ数33団体、メンバー等の総数4,307人）</p> <p>○自治会等へ環境教育・学習アドバイザー派遣制度</p> <p>自治会等へ環境教育・学習アドバイザー派遣制度を行った。（2件）</p>

令和 3 年度 事業報告書

事業名	環境教育・実践推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・実践推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 9 年度

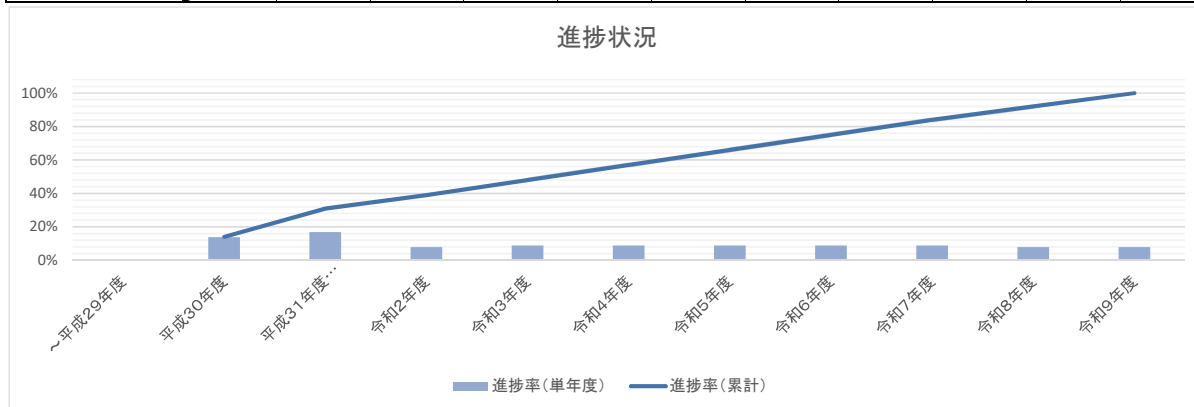
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	37,500	29,500	8,000	自治会等へ環境教育・学習アドバイザー派遣制度
講師旅費	7,000	4,000	3,000	自治会等へ環境教育・学習アドバイザー派遣制度
委託費	16,170,500	0	16,170,500	地球温暖化防止活動・環境教育推進事業 9,598,000円 県民総参加による環境実践活動の普及啓発 3,459,500円 エコアイデアコンテスト3,113,000円
補助金	987,345	0	987,345	こどもエコクラブ活動の支援
合計	17,202,345	33,500	17,168,845	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		4,731	17,292	21,729	17,202	22,067	12,191	12,191	12,191	12,191	12,191
事業費 (累計)		4,731	22,023	43,752	60,954	83,021	95,212	107,403	119,594	131,785	143,976

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		14%	17%	8%	9%	9%	9%	9%	9%	8%	8%
進捗率 (累計)		14%	31%	39%	48%	57%	66%	75%	84%	92%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	CO2を減らして未来を守る県民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	CO2を減らして未来を守る県民運動推進事業	開始年度	令和2年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 家庭のCO2排出削減に向けた実践的な取組の充実を図るため、事業者や鳥取県地球温暖化防止活動推進センター等と連携して普及啓発に取り組むとともに、市町村等が実施する住民向けの環境実践活動を支援する。</p> <p>【目標】 ○事業に関わった人数（来場者数、参加者数などの合計） ・300人（令和3年1月時点）→ 累計5,000人（令和9年度）</p> <p>【令和3年度実績】 ○事業に関わった人数 1,510人（キャラバン1,250人、北栄町260人）</p>

2. 概要

<p>脱炭素に係る全県的な機運醸成を推進し、家庭のCO2排出削減に向けた実践的な取組の充実を図るため、事業者や鳥取県地球温暖化防止活動推進センター等と連携して普及啓発に取り組むとともに、市町村等が実施する住民向けの環境実践活動を支援する。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定） ○鳥取県CO2削減・省エネ推進補助金交付要綱（R2.4～）</p>
--

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 「とっとりゼロ・カーボン・チャレンジ」啓発キャラバン	<p>温暖化対策の現状や取り組むべき課題等について幅広く県民の理解を広げるため、県、市町村、事業者等が主催する県民向けフォーラムやイベント等と連携した啓発キャラバンを実施した。（2回） ※新型コロナウイルスの影響で、イベントによる啓発活動が十分にできなかったため、SNSなどのメディアも活用し、キャンペーンと併せて広報を行った。</p>
(2) CO2削減・省エネ普及啓発事業	<p>家庭における省エネ意識の定着や先進的事例の他市町村への拡大を推進するため、市町村が地域住民向けに行う以下の取組等を支援を行った。</p> <p>(1) ゼロカーボン普及啓発事業（1件） ・町内の全小学4年生を対象に、地球温暖化対策等の環境学習会を実施した上で、夏休み中に各家庭で取り組む「かんきょうチェックノート」を配布し、省エネの意識定着と実践を図った。</p> <p>(2) 住民参加型断熱改修ワークショップ実施事業（0件） ※企画は複数あったが、新型コロナウイルス感染症の影響などで実施に至らなかった。</p>

令和 3 年度 事業報告書

事業名	C02を減らして未来を守る県民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	C02を減らして未来を守る県民運動推進事業	開始年度	令和 2 年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 9 年度

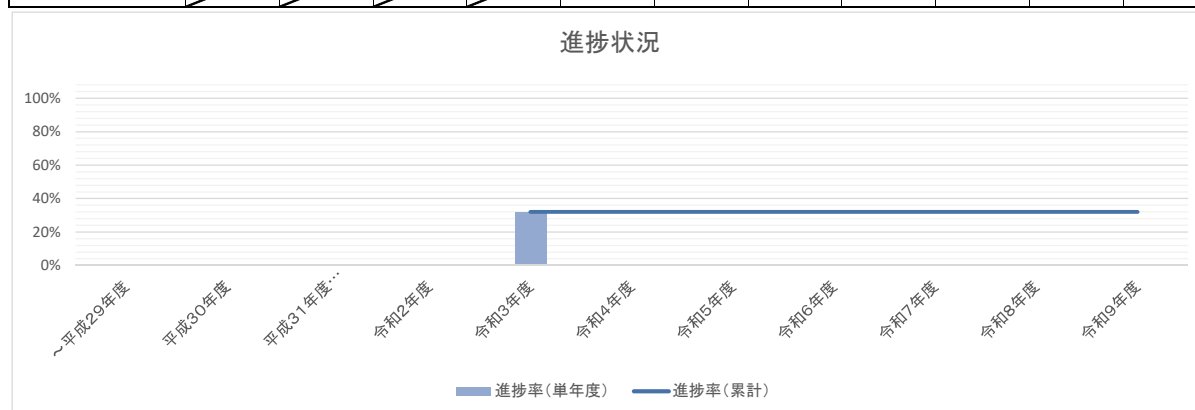
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	791,500	0	791,500	「とっとりゼロ・カーボン・チャレンジ」啓発キャラバン
補助金	161,500	0	161,500	C02削減・省エネ普及啓発事業
合計	953,000	0	953,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)					953						
事業費 (累計)					953	953	953	953	953	953	953

6. 進捗状況等

年度	~平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)					32%						
進捗率 (累計)					32%	32%	32%	32%	32%	32%	32%



令和3年度 事業報告書

事業名	家庭の省エネ・再エネ快適生活促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	家庭の省エネ・再エネ快適生活促進事業	開始年度	平成3年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 家庭で行う創エネ、蓄エネ及び省エネの取組の普及啓発を行うとともに、エネルギー消費の多い家電の買い替えや省エネ設備設置を促進する。</p> <p>【目標】 ○ガイドブック（WEBサイト）の閲覧数 ・（令和2年度未開設）→累計100,000ページビュー（令和9年度）</p> <p>【令和3年度実績】 ○ガイドブックの閲覧数 15,500ページビュー</p>

2. 概要

家庭で行う創エネ、蓄エネ及び省エネの取組をまとめて分かりやすく発信し、ゼロカーボン社会実現に向けた各家庭での対策実施を促す。
--

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）</p> <p>○地球温暖化対策推進法→鳥取県地球温暖化対策条例</p>
--

4. 実施内容等

区分	内容
ゼロカーボン社会実現に向けた暮らしのガイドブック制作	脱炭素社会に向けて、各家庭でのエネルギー消費の見直しと省エネ行動を呼びかけるため、具体的な省エネ手法やそれら取組が必要な背景（温暖化の進行等）、持続可能な地域づくりの視点（自立分散型地域エネルギー社会の推進等）などを盛り込んだガイドブックを制作した。 ※令和4年度にエコサポーターズ（地球温暖化防止活動推進員）や市町村に300部配布予定。また、新設する鳥取県地球温暖化防止活動推進センターWEBサイトに掲載予定。

令和3年度 事業報告書

事業名	家庭の省エネ・再エネ快適生活促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	家庭の省エネ・再エネ快適生活促進事業	開始年度	平成3年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和9年度

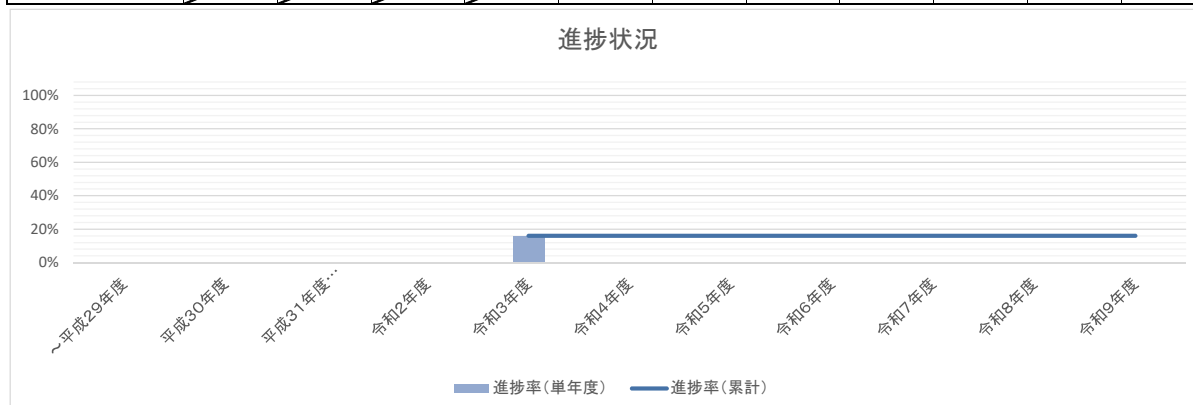
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	3,000,000	0	3,000,000	ゼロカーボン社会実現に向けた暮らしのガイドブック制作
合計	3,000,000	0	3,000,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)					3,000						
事業費 (累計)					3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)					16%						
進捗率 (累計)					16%	16%	16%	16%	16%	16%	16%



令和3年度 事業報告書

事業名	地域エネルギー社会構築支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域エネルギー社会構築支援事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
県内全域に数多くある多種多様な再生可能エネルギー施設を「とっとり次世代エネルギーパーク」と位置づけ、施設設置者と協同して、エネルギーを通じた環境教育活動や環境保全活動を推進する。

【目標】
平成30～令和9年度の10年間で「とっとり自然環境館」及び「とっとり水素学習館」の合計来場者数10万人突破

【令和3年度実績】
とっとり自然環境館 10,384人 とっとり水素学習館 597人

2. 概要

鳥取県は、豊かな自然や変化に富む地形を活かした、太陽光、風力、水力、バイオマス、雪氷熱利用といった多種多様な再生可能エネルギー施設が民間と行政機関によって数多く導入され、エネルギーの宝庫である。
中核施設である「とっとり自然環境館」（西部地区）、「鳥取すいそ学びうむ（とっとり水素学習館）」（東部地区）を中心に、再生可能エネルギー施設及びその関連施設と連携し、県域全体を「とっとり次世代エネルギーパーク」として位置づけ、県内外の来訪者が見て触れることにより環境学習の推進や再生可能エネルギーの普及啓発を進める。
また、次世代エネルギーパークの活用によって、エネルギーを通じた自然豊かな鳥取の魅力を県内外に発信し、環境意識の醸成や環境保全活動の推進を図る。

3. 根拠法令等

経済産業省の「次世代エネルギーパーク」制度
とっとり次世代エネルギーパーク計画
鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）

令和3年度 事業報告書

事業名	地域エネルギー社会構築支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域エネルギー社会構築支援事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和9年度

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 再生可能エネルギー体験学習	<p>エネルギーパークの西部地区の中核施設である「とっとり自然環境館」を環境学習の拠点として、年間を通じて定期的に県内の小学生、親子連れを対象とする体験型のエネルギー教室等を委託事業により実施した。</p> <p>(1) 学習プログラムの企画・実施 エネルギー教室のプログラムとして、以下に掲げる内容について企画・実施</p> <p>ア 再生可能エネルギーに関する体験型の講座「エネルギー教室」開催 (20回)</p> <p>イ 県内の再生可能エネルギー施設や自然などを巡るツアー型の体験講座(エコツアー)の実施 (8回) 参加者数：延べ178名 内容：ソーラーパーク見学、バイオマス発電所見学、小水力発電所見学、風力発電所見学等</p> <p>(2) 再生可能エネルギー体験設備等の整備 エネルギー教室を実施するに当たって必要となる設備等を整備を行い、充実したエネルギー教室を実施した。(3件) ・太陽光発電で充電する既存の常用ラジコンカーを修理することにより、小学校低学年に再生可能エネルギーを体験する場を設けた。 ・「しゃべる地球儀」を導入し、世界各国の特徴や気候などの解説を写真と音声で閲覧できるようにした。 ・再生可能エネルギーの理解と環境教育を図るために小学生を対象にした「エコとりクラブ」解説のeラーニングシステムを導入した。</p> <p>(3) 職員の養成 エネルギー教室を実施するに当たって必要となる知識・技能を身につけるための研修等を実施し、職員を育成を図った。 ・視察研修として、とっとり次世代エネルギーパークを構成する「北条砂丘風力発電所」及び「鳥取すいそ学びうむ」を見学した。 ・外部講師を招き、わかりやすい説明や案内を行うための研修を実施した。</p> <p>(4) 広報活動 ・コロナ禍で人が多数参集するイベントが開催できなかったため、ゴールデンウィーク期間のクイズラリー、開館記念日の缶バッジ制作、入館者10万人達成のイベントを小規模で実施した。 ・ホームページを活用し、エネルギー教室やエコツアーの様子を発信した。 ・とっとり自然環境館の周知を図るためのワークショップを実施した。(9回) 参加者数：延べ157名 ・県道及び市道沿いの電柱に誘導看板を掲出した。</p>
(2) 水素エネルギー体験教室	<p>エネルギーパークの東部地区の中核施設となる環境学習拠点「とっとり水素学習館」で、活用する実験機材の補修及び制作を委託し、再生可能エネルギーを利用する「水素社会」について学ぶ環境教育の環境を整えた。</p>
(3) 夏休み！自由研究再エネ体験ツアー	<p>・県内の小学生を対象とする再生可能エネルギーをテーマにした体験講座を実施した。(新型コロナウイルス感染拡大を受け、バスツアーからオンライン開催に変更し名称は「夏休み！自由研究自然エネルギー研究所」とした。)</p> <p>実施年月日：令和3年8月8日 方法：オンライン会議形式 参加者数：小学生23名(見逃し配信含む) ・自然エネルギー自由研究及びソーラーエコハウス制作のコンテストを実施した。 応募者数：自然エネルギー自由研究9名、ソーラーエコハウス制作50名</p>

令和3年度 事業報告書

事業名	地域エネルギー社会構築支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	地域エネルギー社会構築支援事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和9年度

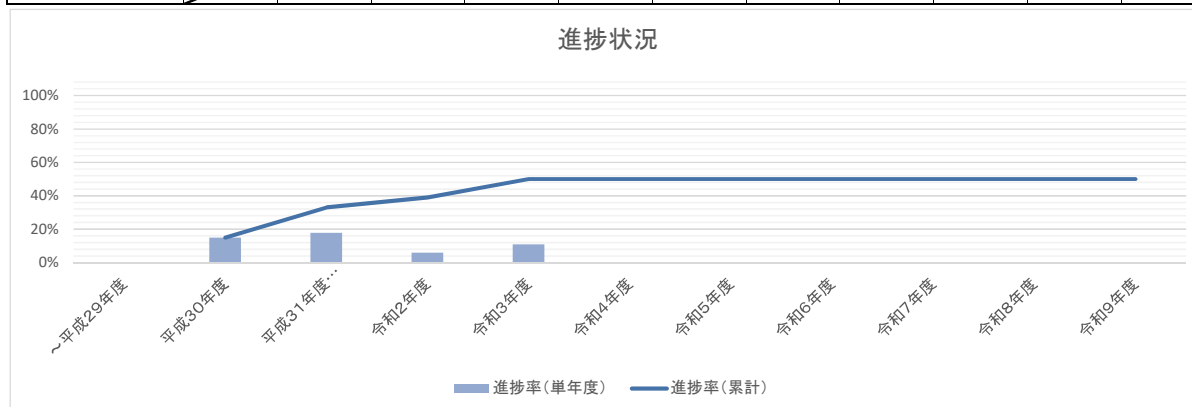
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	5,034,190	0	5,034,190	(1) 再生可能エネルギー体験教室 2,000,000円 (2) 水素エネルギー体験教室 234,190円 (3) 夏休み！自由研究再エネ体験ツアー 2,800,000円
合計	5,034,190	0	5,034,190	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		6,800	6,752	5,800	5,034						
事業費(累計)		6,800	13,552	19,352	24,386	24,386	24,386	24,386	24,386	24,386	24,386

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		15%	18%	6%	11%						
進捗率(累計)		15%	33%	39%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%



令和3年度 事業報告書

事業名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	新規・継続区分	継続
事項名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	開始年度	平成30年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

ごみゼロ社会の実現に向けて、ごみ排出量の一層の削減を図るため、食品ロス削減に重点化した取組を継続実施し、県民を挙げたごみゼロ意識の醸成を図る。

【目標】一般廃棄物排出量 193千トン以下（令和9年度）

【令和3年度公表値】一般廃棄物排出量 202,597トン（前年度比 △9,324トン）

2. 概要

鳥取県では、令和2年3月に策定した鳥取県廃棄物処理計画において「持続可能な循環型社会の構築」を基本理念とし、ごみの発生抑制につながる取組、中でも食品ロスの削減を重点的に取り組むこととし、子どもから大人まで全県民が一体となった、家庭や地域（買物、外食等）での実践的な運動を展開する。

3. 根拠法令等

- ・鳥取県環境基本条例⇒鳥取県環境基本計画⇒とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）
- ・廃棄物処理法⇒鳥取県廃棄物処理計画（令和2年3月策定）

令和3年度 事業報告書

事業名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	新規・継続区分	継続
事項名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	開始年度	平成30年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

4. 実施内容等

区分	内容
(1) もったいない！食べ残しゼロ事業	飲食店等で食べきれない料理の持ち帰りが可能なドギーバック（食品の持ち帰りのための容器）普及のため、県民モニター調査を実施し、その普及に係る課題を把握した。 ○ドギーバック500個、調査員証150枚、自己責任カード500枚、協力店マップ150枚作成
(2) ごみゼロポスターコンクール事業	県内全域の小中高生を対象に、プラごみの排出抑制や食品ロス削減を呼びかけるポスターを募集し、ポスター作成を通して児童生徒のごみゼロへの意識の醸成を図った。 また、最優秀を受賞したポスターについては、県内公共施設等へ掲示を要請し、マイボトル運動やプラごみゼロチャレンジなどの県事業に活用することで、県民全体への意識啓発を図った。 ○ポスター応募数：84件
(3) 幼児を対象とした意識啓発活動	実践活動団体に委託し、幼少期から食べ残しを減らす意識や物を大事にする意識を醸成するため、県内各地の保育所、認定こども園等を訪問して歌や紙芝居等を用いた啓発活動を行った。 実施個所：17箇所
(4) フードドライブ事業	フードバンク活動への理解と認知向上を図るとともに、取組拡大を促進するため、民間団体に委託して地域や職場でのフードドライブ事業を行った。 実施期間：令和3年9月～10月 実施場所：県庁機関4地点、生協支所等17地点 寄付食品数：2,271点（2,118kg）
(5) Let's 4 R 実践活動推進補助金	食品ロスを減らす料理講習会の開催やミックスペーパーの分別など、家庭等での実践活動の拡大、学校や地域での環境教育の推進に取り組む団体、食品リサイクルループを推進啓発する企業等の支援を行った。 【補助率】1/2【限度額】500千円 交付先：1市3団体
(6) おいしい！とっとり30・10食べきり運動（啓発活動）	忘新年会や歓送迎会等の宴会シーズンを中心に、宴会での食べ残しを減らす「3010食べきり運動」の実施と定着を図るため、ポスター500枚、チラシ4,400枚を制作し、関係団体への協力要請や啓発活動を行った。
(7) スーパー等でのキャンペーン実施など啓発活動	スーパー等の店頭で啓発ポップ（1,000枚）の掲示など、食品ロス削減啓発キャンペーンを実施し、消費者の過度な鮮度志向など消費行動の見直しを図った。

令和3年度 事業報告書

事業名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	新規・継続区分	継続
事項名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	開始年度	平成30年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

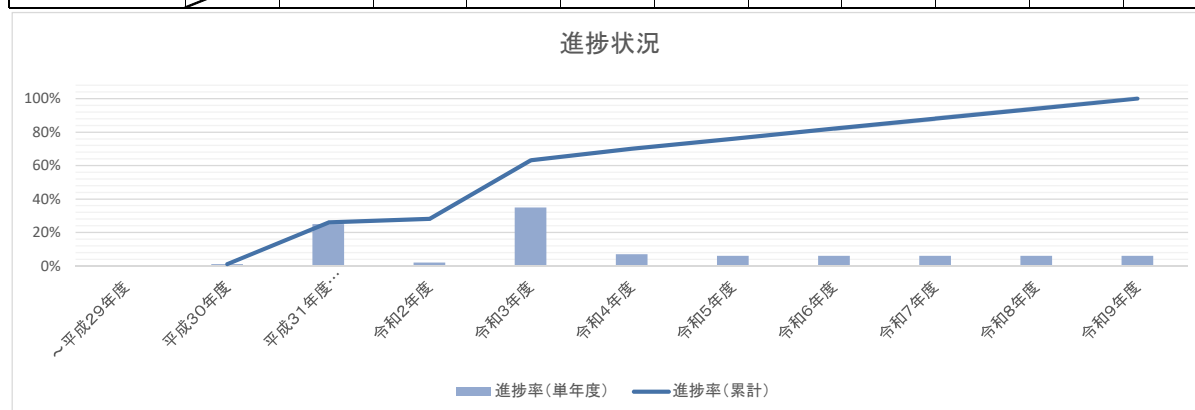
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
印刷製本費	143,506	0	143,506	キャンペーン 0円 3010運動 64,240円 ごみゼロポスターコンクール79,266円
委託費	1,810,912	0	1,810,912	幼児向け啓発 668,400円 フードドライブ 284,512円 もったいない！食べ残しゼロ事業 858,000円
補助金	596,923	0	596,923	Let's4R補助金
合計	2,551,341	0	2,551,341	(単位：円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		3,899	2,556	1,686	2,551	1,825	626	626	626	626	626
事業費(累計)		3,899	6,455	8,141	10,692	12,517	13,143	13,769	14,395	15,021	15,647

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		1%	25%	2%	35%	7%	6%	6%	6%	6%	6%
進捗率(累計)		1%	26%	28%	63%	70%	76%	82%	88%	94%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	新規・継続区分	継続
事項名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	開始年度	令和元年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
近年、国際的な問題となっている海洋プラスチックごみ等のプラスチックごみ問題について、県民への問題意識を喚起するため、プラスチックごみの現状や課題、問題解決に向けた取組を実施し、プラスチックごみの減量とリサイクル推進を図る。

【目標】 プラごみ削減取組協力企業等の登録件数 85件（令和9年度）

【令和3年度実績】 プラごみ削減取組協力企業等の登録件数 46件

2. 概要

プラスチックごみゼロ社会の実現に向けて、県民、企業、行政が一体となってプラスチックごみの排出抑制や再資源化を推進する。

3. 根拠法令等

- ・鳥取県環境基本条例⇒鳥取県環境基本計画⇒とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）
- ・廃棄物処理法⇒鳥取県廃棄物処理計画（令和2年3月策定）

令和3年度 事業報告書

事業名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	新規・継続区分	継続
事項名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	開始年度	令和元年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

4. 実施内容等

区分	内容
(1) プラごみアート巡回事業	<p>県内の海岸等で拾ったプラスチックごみで海ごみアートを作成し、完成した海ごみアートを県内巡回及び公共の場において一定期間展示して県民のプラごみゼロへの意識啓発を図った。 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、予定していた公開制作は中止となった。</p> <p>○作業日程 令和3年10月～ 海ごみ等の収集・洗浄 令和3年10月17日～11月11日 作品制作 令和3年11月12日～令和4年5月24日 県内巡回展示 9箇所 (智頭農林高等学校、鳥取市立城北小学校、米子市立崎津小学校、米子コンベンションセンター、米子市立明道小学校、倉吉未来中心、国立鳥取砂丘ビジターセンター、鳥取県庁、県立若桜ふれあい自然館)</p>
(2) とっとりプロギング開催事業	<p>ごみ拾いをしながらジョギングする大会を開催し、健康志向の高い県民を取り込みごみ拾いに参加していただくことで、プラごみゼロの意識向上を図ろうとしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催中止となった。</p>
(3) 海ごみ写真・動画展の開催	<p>プラスチック・フィッシングツアー（別事業）の様子を撮影（写真・動画）し、県や事業者のHPへ掲載することで日本海のごみの状況の情報発信を行った。 また、ツアーに参加していない多くの県民へ意識啓発を図るため、公共施設等で海ごみ写真展を開催し、美しい日本海と海ごみのアンバランスを紹介することで、美しい海を守ろうとする意識の醸成を図った。 開催場所：倉吉未来中心アトリウム 開催期間：令和4年1月20日～2月2日</p>
(4) 河川におけるプラごみ調査	<p>河川に流れ込むプラごみの実態調査を行っていただく県民を募集し、調査を通じて実態を知っていただくことにより、プラごみ問題の意識啓発を図った。 実施日時：令和3年11月16日、17日 調査場所：鳥取市袋川（きなんせ広場周辺）</p>
(5) マイボトル使用推進事業	<p>プラスチック製品の使用抑制の取組を県民に促すため、マイボトル運動キャンペーンの実施を通じてプラごみ問題への意識啓発を図った。</p>
(6) 「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業補助金	<p>地域住民の団体等が実施するイベントでのリユース食器使用に関する支援など、プラごみ削減の取り組みに対して支援を行った。 【補助率】1/2 【限度額】250千円 交付先：1市1団体</p>

令和 3 年度 事業報告書

事業名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	新規・継続区分	継続
事項名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	開始年度	令和元年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和9年度

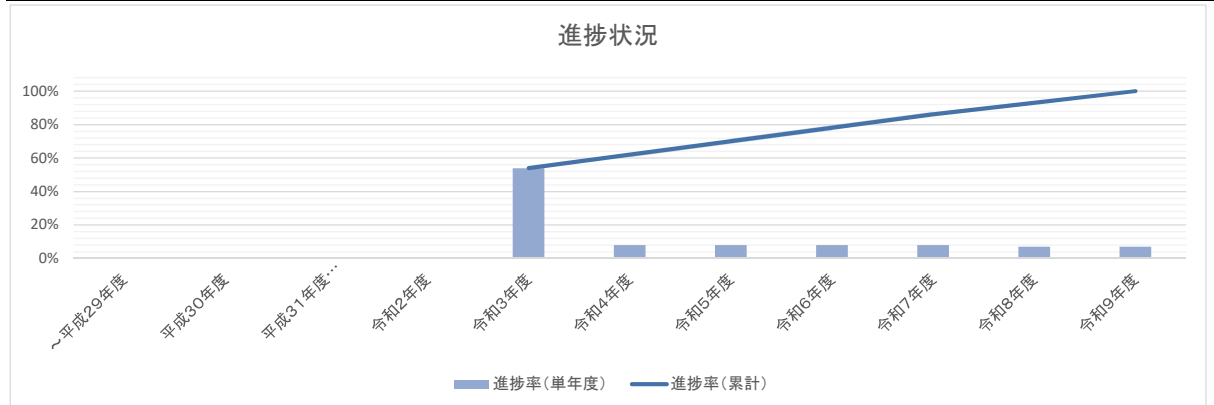
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	100,000	0	100,000	マイボトル使用推進事業
旅費	0	0	0	河川を流れるプラごみ調査
需用費	0	0	0	河川を流れるプラごみ調査
役務費	262,570	0	262,570	河川を流れるプラごみ調査 0円 プラごみアート巡回事業 262,570円
委託費	5,684,890	0	5,684,890	マイボトル使用推進事業 945,890円 河川を流れるプラごみ調査 1,425,000円 プラごみアート巡回事業 3,111,000円 とっとりプロギング開催事業 203,000円 海ごみ写真・動画展の開催 0円
補助金	258,841	0	258,841	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業補助金
合計	6,306,301	0	6,306,301	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)					6,306	6,413	4,342	4,342	4,342	4,342	4,342
事業費 (累計)					6,306	12,719	17,061	21,403	25,745	30,087	34,429

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)					54%	8%	8%	8%	8%	7%	7%
進捗率 (累計)					54%	62%	70%	78%	86%	93%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	くらしの安心局水環境保全課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
ラムサール条約登録湿地である中海の流入源対策をはじめ、湖山池、東郷池及び中海における自然環境の保全、環境問題の普及啓発などの活動を実施する自治会又は環境保全団体等を支援し、県民との協働による湖沼の自然環境の保全及び賢明な利用を推進する。

【目標】
平成30年度から令和9年度までの10年間に「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」を45団体へ交付する。

【令和3年度実績】「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体 2団体

2. 概要

次の間接補助事業に「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」を交付する。
○自然環境創造事業（ビオトープの保全・再生／水質浄化対策（ヨシ等の水生植物の植栽を含む）／貝類、稚魚等の放流／地域の伝統的な環境の創造・保全に資する事業）
○普及啓発事業（生物多様性からの地域づくりの推進（外来種の防除、湖沼の生態系のPR活動等、湖沼の生物多様性の確保に資するもの）／環境問題の普及啓発活動（湖沼の自然環境の保全に関するもの）／利活用を促進する活動（湖面を利用するスポーツ体験及び湖沼の産物を使った調理体験の実践等、地域における湖沼の利活用を促進するもの））
○流入源対策事業
中海及びその上流地域において河川等の清掃活動を行うこと。

3. 根拠法令等

鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号）
みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金交付要綱
平成23年3月28日付第201000194915号鳥取県生活環境部長通知

4. 実施内容等

○湖山池（交付先：1団体）
・湖山池周辺を清掃し、環境保全に対する啓発活動を行った。
秋の早朝一斉清掃：令和3年10月15日（金） 参加 12団体（延べ129名）
春の一斉清掃：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

○東郷池（交付先：1団体）
・東郷池の良好な環境を保全するための啓発イベントを企画した。
※イベント実施に備え消耗品の購入をしたが、新型コロナウイルスの影響でイベントは中止となった。

○中海（交付先：0団体）新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

令和3年度 事業報告書

事業名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	くらしの安心局水環境保全課	終了年度	令和9年度

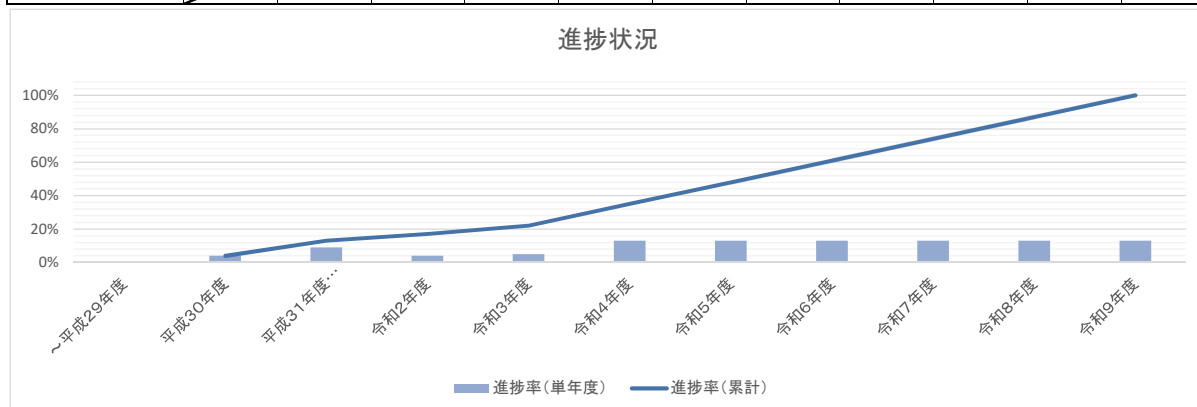
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	65,722	0	65,722	普及啓発事業（鳥取市49,232円、湯梨浜町16,490円）
合計	65,722	0	65,722	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		660	925	208	66	885	703	703	703	703	703
事業費（累計）		660	1,585	1,793	1,859	2,744	3,447	4,150	4,853	5,556	6,259

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		4%	9%	4%	5%	13%	13%	13%	13%	13%	13%
進捗率（累計）		4%	13%	17%	22%	35%	48%	61%	74%	87%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	”ラムサール条約湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	”ラムサール条約湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	開始年度	令和2年度
担当部署	くらしの安心局水環境保全課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】

県民の貴重な資源である中海の豊かな自然や恵みを次世代へ引き継ぐため、地域住民に対して中海の生態系やそれを守ろうとする住民活動をわかりやすく動画で伝え、地域住民の環境保全の行動を促すための意識醸成を図るとともに次世代を担う子供たちを対象に中海周辺の身近な生物について現地体験型の教育普及活動を行うことを目的とする。

【目標】

令和2年度から令和9年度まで、延べ40拠点での普及啓発を行う。

【令和3年度実績】普及啓発を行った拠点数 0 拠点（新型コロナウイルスの影響により実績なし）

2. 概要

ラムサール条約登録湿地の中海に生息する植物、魚介類、鳥類等の映像のほか、気候風土、歴史や生態系と人とのつながり、さらに地域住民や団体が行っている環境保全活動の動画を制作し、次世代を担う子どもたちをはじめとする県民向けの環境教育及び情報発信を行う。また、県内で実施する中海活用イベント等での上映を行い、地域住民の環境保全への意識醸成を図る。公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団が行う中海の身近な生き物に関する普及啓発活動に米子市を通じて助成する。

なお、令和2年度（湿地登録15周年）、令和6、7年度（同20周年）に2回の動画制作を予定している。

3. 根拠法令等

湖沼水質保全特別措置法（昭和59年7月27日法律第61号）

湖沼水質保全基本方針（平成18年1月26日環告第29号）

中海に係る湖沼水質保全計画（第6期、平成27年3月）

鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号）

鳥取県美しく豊かな水環境を次世代につなぐ環境教育推進事業補助金交付要綱（令和2年3月25日付第201900312876号）

4. 実施内容等

○環境保全動画等による普及啓発 令和3年度普及啓発地点数 0 件

○公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団への補助金

【実施内容】

・環境学習、普及啓発事業

こどもエコクラブ（109名参加）

こどもラムサールクラブ（77名参加）

プラスチック漂着ごみの再利用による工作イベント（72名参加）

「中海の生きもの展－ヨシ原の住民たち－」（1,983名来場）

他6事業（延べ88名参加）

・生態系の実態把握

鳥類標本制作委託（9点）

昆虫標本作成（500点）

令和 3 年度 事業報告書

事業名	”ラムサール条約湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	”ラムサール条約湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	開始年度	令和 2 年度
担当部署	くらしの安心局水環境保全課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	1,250,000	0	1,250,000	普及啓発事業（米子市）
合計	1,250,000	0	1,250,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)				2,050	1,250	1,250	968	968	968	968	968
事業費 (累計)				2,050	3,300	4,550	5,518	6,486	7,454	8,422	9,390

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)				10%	0%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
進捗率 (累計)				10%	10%	25%	40%	55%	70%	85%	100%

